



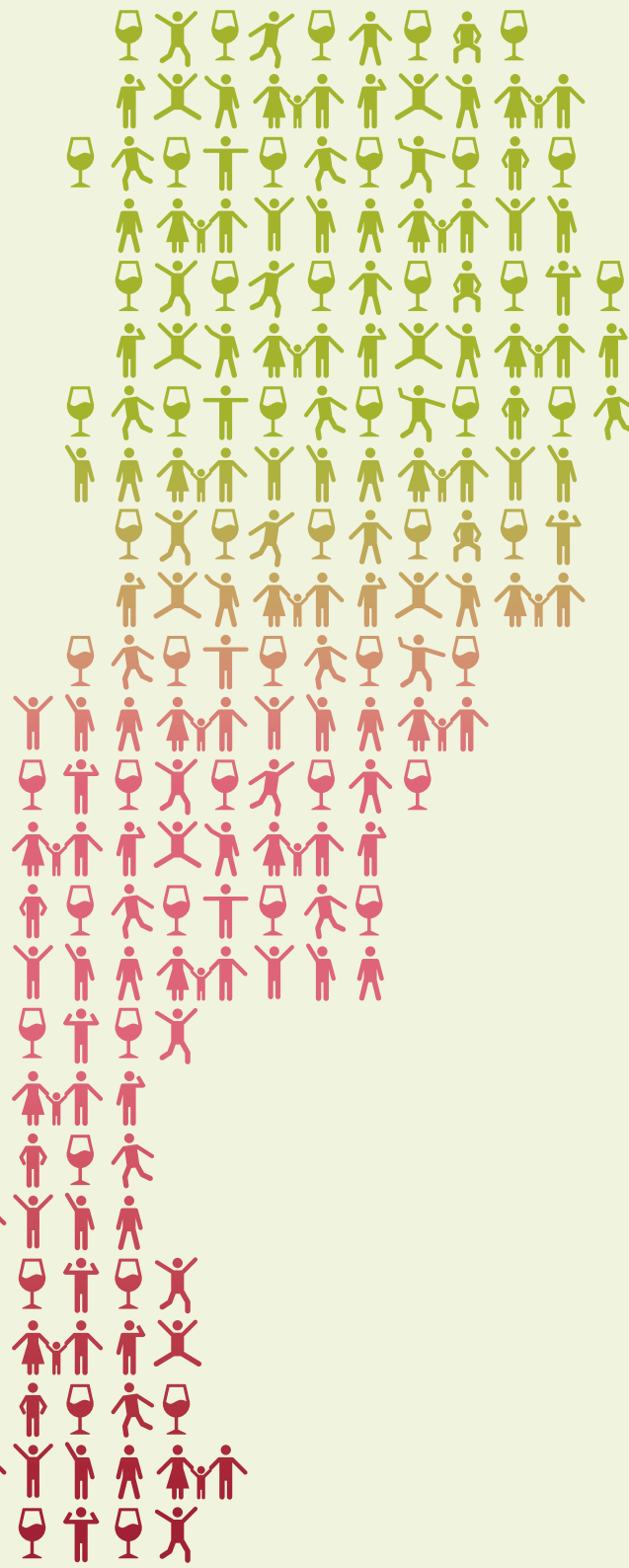
三菱商事復興支援財団
2018—2019

三菱商事復興支援財団
2018—2019

希望のいしずえ

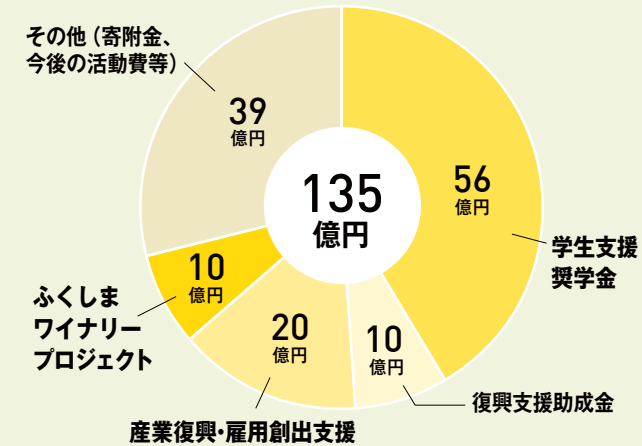
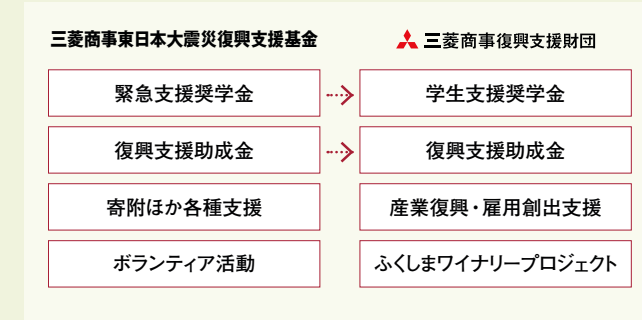
— この言葉に込めた私たちの願い —

この冊子は三菱商事復興支援財団の2018～19年の活動報告です。当財団では、被災地の事業者を対象とした産業復興・雇用創出に対する支援、大学生への奨学金の支給、被災地で活動するNPOなどへの助成を行ってきました。2015年度からは、福島県で果樹農業の6次産業化を支援するためのプロジェクト(ふくしまワイナリープロジェクト)を開始しています。これらの活動は、被災地の未来を担う若者や、被災地の継続的な復興、経済再生の基礎となる地域産業への、いわば“被災地の未来に対する投資”。「希望のいしずえ」という言葉には、当財団による支援が被災地での希望を生む根幹になってほしいという願いを込めています。



三菱商事復興支援財団の活動

三菱商事は、2011年3月11日の東日本大震災の復興支援活動のため4年間総額100億円の三菱商事東日本大震災復興支援基金を創設し、被災した地域の状況やニーズに合わせてさまざまな活動を展開してきました。2012年春には当財団を設立し、基金の活動の一部を引き継ぐとともに、被災地の産業復興・雇用創出を目的とした支援を継続しています。2015年度には更なる活動資金として、当財団に対し35億円の追加拠出を決定しました。従来の活動を継続するとともに、福島県郡山市で新たに果樹農業の6次化を支援するふくしまワイナリープロジェクトを推進しています。



※三菱商事東日本大震災復興支援基金を含めた概算の金額

三菱商事復興支援財団 2018—2019

- 3 三菱商事復興支援財団の活動
- 4 ふくしまワイナリープロジェクト「郡山産ワイン」ができました
- 10 産業復興・雇用創出支援
支援先 新商品・サービス紹介
- 18 学生支援奨学金
受給者の声
- 22 Facts & Figures
- 26 2018年度財務報告
- 27 三菱商事復興支援財団概要

「郡山産ワイン」ができました

当財団が2015年より取り組んでいる「ふくしまワイナリープロジェクト」。

2019年3月、郡山産のブドウを使い、郡山で醸造した初めての「郡山産ワイン」が完成しました。

郡山産ワイン

Vin de
Ollage

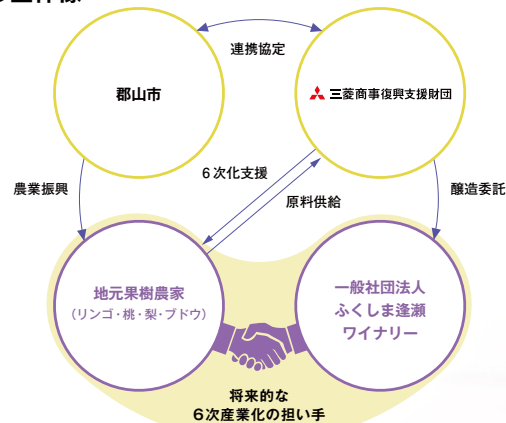
(ヴァン デ オラージュ)

「自分の家」を意味する福島の方言「おらげ」にちなみ、
郡山の皆さんが「おらげのワイン」と自信を持って
薦められるようにと名付けました。

ふくしまワイナリープロジェクト

ふくしまワイナリープロジェクトは、福島県の特産品である果物の生産から加工、販売までを一体的に運営する新たな事業モデルを構築し、農産物や地元ブランドの付加価値向上を目指すもの。福島県産のリンゴや桃、梨、ブドウを原料に、ふくしま産ワインでワインやリキュールなどを生産する一方、新たにワイン用ブドウの生産を開始する農家を支援しています。

●事業の全体像



Vin de Ollage

郡山産ワイン「Vin de Ollage」の特徴や、初年度の醸造、今後の抱負について、ふくしま逢瀬ワイナリーの醸造責任者の佐々木宏さんに聞きました。

「郡山」のポテンシャルを感じられるワイン

—— 郡山産ワインの出来栄をどう考えていますか。

初年度としては上出来。色、香りも良く、郡山という土地のポテンシャルを感じられるワインに仕上がったと思います。これも農家の皆さんがおいしいブドウを育ててくれたおかげです。

—— 初年度の醸造について教えてください。

現在、市内の13軒の農家さんにワイン用ブドウを栽培していただいており、昨年秋に収穫を迎えたのは、そのうち6軒。メルローやカベルネ・ソーヴィニヨン、シャルドネなど計約7tを収穫しました。収穫初年度なのでブドウの収穫量が少なく、さらに品質の良いブドウを厳選したため、販売本数は赤、白が各600本、ロゼは3,500本と少なめでした。また、収穫初年度の若くみずみずしいブドウの特徴を活かして、ロゼ中心の醸造となりました。

ふくしま逢瀬ワイナリー 醸造責任者
佐々木 宏さん

Label Design



ラベルの中央には、明治時代に郡山を切り拓き、郡山の農業を支えたことから日本遺産に認定されている「安積疏水」をイメージした1本のラインをデザイン。中央のエンブレムは郡山の「開拓者」と「ブドウ生産農家」を象徴する鋤をデザインした。六つの鋤を組み合わせた風車のデザインは、「新しい農業」を推進する追い風を象徴している。

—— 現地、郡山の皆さんの反応はどうでしたか。

本数が少なかったで、まずは地元郡山の皆さんに味わっていただこうと、赤、白はワイナリーの店舗のみの限定販売としたのですが、3月10日に発売してから数週間で完売しました。ロゼもワイナリーの店舗に割り当てた分は5月に完売し、7月現在では県内の百貨店や土産物店などに卸したものが残っているだけです。ワイナリーにお越しいただいたお客さまから「待ってたよ」「楽しみにしていたよ」と声も掛けていただき、私たちの想像以上に期待してもらっていたのだと、胸が熱くなりました。



3月5日に郡山市で開催された商品発表会には関係者約100名が出席。郡山市から品川萬里市長（左）、三菱商事から榎田雅和常務執行役員（右）も出席し、郡山産ワインの完成を祝った

Vin de Ollage ロゼ 2018 750ml

メルローとカベルネ・ソーヴィニオンをブレンド。果皮本来の色を引き出した輝きのあるピンクが美しい。野花のような優しい香り、生き生きとしたキレのある酸味と、しっかりとした骨格が特徴。



Vin de Ollage 赤 2018 750ml

メルローやブラッククイーン、カベルネ・ソーヴィニオンをブレンド。深紅色にカシスやプラムのような香り、豊かな土壌が生み出す上品で引き締まった酸味と、余韻を長く楽しめるなめらかな渋みが特徴。



Vin de Ollage 2018 ラインアップ

Vin de Ollage 白 2018 750ml

ソーヴィニヨン・ブランとシャルドネをブレンド。果実由来の淡い黄色に、グレープフルーツのような柑橘系で爽やかなフレーバー。口いっぱいに広がる上品で爽快な香りと柔らかな酸味、フレッシュなシトラス系の果実味が特徴。



※赤、白は完売しています。ロゼもワイナリー店舗での販売分は完売しています。

—— どのような苦労があったのでしょうか。

新たにワイン用ブドウを植えてワインをつくるというこのプロジェクトは、郡山市や農家の皆さんからすれば雲をつかむような話だったと思います。農家の皆さんは、2015年に栽培経験のないワイン用ブドウを植え、郡山市の皆さんと一緒にワインづくりの研究会を立ち上げて勉強しながら、昨年秋の初収穫を迎えるまで約3年もの間、実を付けない木の管理をずっと続けてきました。郡山市の皆さんも、研究会だけでなく、栽培農家の公募や補助事業の実施などを通して、惜しみなく力を注いでくれました。私は、仕上げを預かる醸造家として、郡山の土地、そして皆さんの思いの詰まったブドウの味わいを表現したい一心でした。

—— 今後の抱負を聞かせてください。

2015年のプロジェクト開始時には、ワイン用ブドウもなく、醸造施設もなく、本当にゼロからのスタート。それから3年以上がたって、今回、ようやく皆の思いがワインとして一つの実りを迎えたことになります。しかし、私たちは皆、これでやっと本当のスタートラインに立てたと思っています。私の26年の醸造経験に照らしても、郡山産のブドウは国内のどの産地にも引けを取らないワインになるポテンシャルがあると今回改めて確信しました。お酒の良しあしは8割・9割原料で決まります。これからも良いお酒、ワインづくりに向けて、農家の皆さん、郡山市の皆さんと一緒にブドウづくりから携わっていきたいと考えています。



橋本農園
橋本 寿一さん

初めて飲んでみて、いいものができたなと思いました。ワイン用ブドウを植えて3年目でここまでのものができたのは満足です。ですが、私たち農家がもっと良いブドウをつくれば、さらにおいしいワインができる。これからまだまだ努力しないといけないなと思っています。



郡山市 農林部
園芸畜産振興課
6次化・輸出推進係
兼 鯉係
主任
小林 宇志さん

2019年、市民の皆さんが心待ちにしていた郡山産ワインがついにリリースされました。「Vin de Ollage」は、ワイン用ブドウ生産農家やワイナリースタッフをはじめ、果樹農業6次産業化プロジェクトを共に推進してきた皆さんがこれまで紡いできた想いが形になった、唯一無二のワインです。今年で3回目を迎える「ふくしまワイナリーフェス」などのイベントを通じて、プロジェクトのスタートからワインの誕生に至るまでの挑戦の物語も多くの方に知っていただきたいですね。ストーリーを語れる「おらげのワイン」は、きっと味わいも格別になることでしょう。

Fukushima Winery Project

T O P I C S

復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞

2019年1月、復興庁の“平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰”を受賞しました。同顕彰は、「新しい東北」の創造に向けて大きく貢献している個人および団体を表彰するもので、今回で3回目。「ふくしま産果実の高付加価値化による新たな産業の創出と交流人口の拡大」の取り組みが評価され、応募総数132件の中から受賞10件に選ばれました。



2月に開催された式典の様子。渡辺博道復興大臣（左）とふくしま逢瀬ワイナリーの森山潤三代表理事



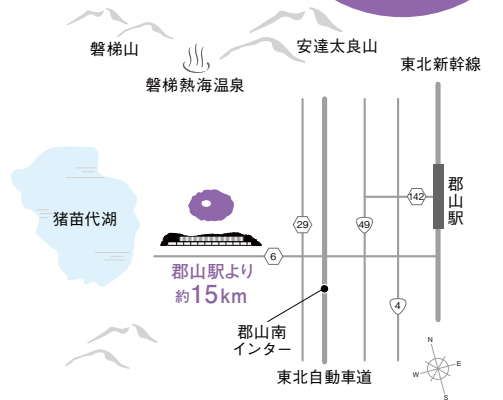
ふくしま逢瀬ワイナリー

JR郡山駅と猪苗代湖のほぼ中間に位置し、田園を抜けた静かな山あいにある豊かな自然環境に恵まれた醸造施設です。ワインショップを併設し、試飲を楽しんでいただける他、三菱商事復興支援財団の支援先や福島県内企業の商品も販売しています。

営業時間：10:00～16:00
定休日：月曜日
(1～3月は水・土曜日のみ営業)
0120-320307 (10:00～17:00)
<https://ousewinery.jp/>

【アクセス】
JR郡山駅から 車で約30分
東北自動車道郡山南ICから 車で約20分
福島県郡山市逢瀬町多田野字郷土郷土2番地

Facebook ページをご覧ください！
商品紹介やイベント情報など、最新の情報を掲載しています。



ぜひ、お越しください！
8/31～9/1
「ふくしまワイナリーフェス」
を開催します！



MUSCAT BAILEY A &
STEBUEN ROSE 2018
会津産の「マスカット・ベリー A」と「スチューベン」を使用したスパークリングワイン



CIDRE 2017
福島県産リンゴ「ふじ」を100%使用したシードル



OUSE POIRE
JAPONAISE
福島県産の梨「幸水」「豊水」が原料のリキュール



OUSE PECHE
福島県産の桃「あかつき」が原料のリキュール



OUSE POMME
福島県産のリンゴ「ふじ」が原料のリキュール

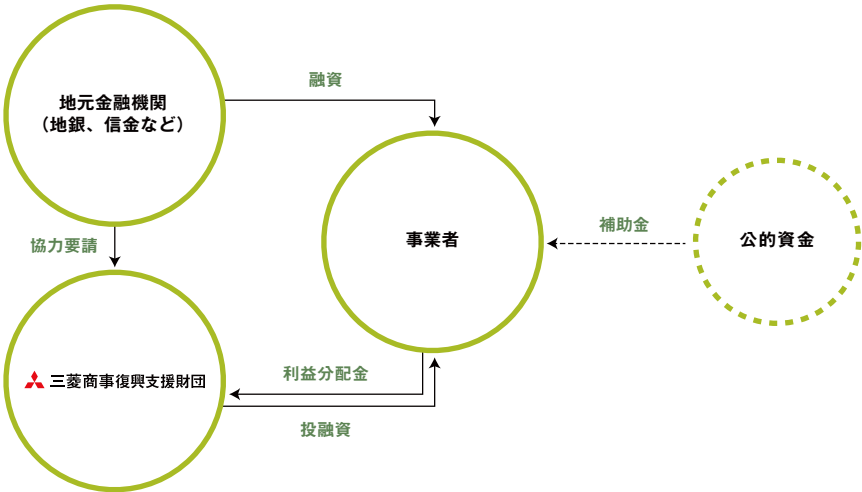
産業復興・雇用創出支援

当財団では、被災地の経済再生に向け、産業復興や雇用創出に寄与する取り組みを展開しています。岩手県、宮城県、福島県の金融機関などと協働し、事業の再建や新規事業の立ち上げを目指す51の事業者への投融資を実施してきました。ここでは、事業の拡大に向けて、支援先各社が開発したえりすぐりの新商品・サービスを紹介します。

Scheme 被災地の未来に対する投資

産業復興・雇用創出における分野では、金融支援（投融資）による活動を行っています。これは返さなくてはならないお金であるが故に生まれる適度な緊張感が、事業の継続を支えていくことに資すると考えたからです。ただし、通常の融資とは一線を画し、最長10年間、事業が軌道に乗るまでは元本や利子の支払いは発生せず、利益が実現した場合には、その一部を利益分配金として受領する仕組みとしています。この分配金は財団内部には留保せず、地元自治体や他の復興支援の基金等に寄附することや、被災地での復興支援活動に再利用することを基本方針としています。復興支援基金が被災地で循環する仕組みを整え、地域経済のさらなる自立促進を目指しています。

●産業復興・雇用創出支援 支援スキーム



● ラポールヘア・グループ



● 三浦商店



● ひろの屋



● ナカショク



● 協同水産



● 伊藤商店



● 仙台秋保醸造所



● サンフレッシュ小泉農園



● 南三陸町社会福祉協議会



● 宝来館



● 海楽荘 (大船渡温泉)



● キャピタルホテル 1000



● 八木澤商店



● 山元町



● 会津中央乳業



● IIE



● 白河市



● 浪江町



● 及川商店



● 相馬市



● 南相馬市



支援先事業者
51件

セッションナブル
(宮城県女川町)

Memorial Wood Guitar

思い出が染み込んだ家が ギターに生まれ変わる

メイド・イン・東北のギターを製造・販売している「セッションナブル」。世界最高水準のリペアマシーン「PLEK」を保有し、メンテナンスサービスでも高い評価を得ています。2018年3月、その高度な技術を活かし、家に使われていた木材をギターに仕立てるサービス「Memorial Wood Guitar」の販売を本格的に開始しました。家の建て替えやリフォームの際に、使いたい木材を選定・発送してから最短で1カ月で完成。木材の種類、大きさ問わず、傷のある部分も活かすことができ、家に詰まった思い出を色あせることなく、残すことができます。



ギターはその木材の種類や状態で音が顕著に変わります。見た目も音もオンリーワンのギターを私たちクラフトマンが一つ一つ丁寧に仕上げます。

製造担当 **川崎 成将**さん



Information

☎ 0225-98-7220 ✉ info@glide-guitar.jp
https://glide-guitar.jp

Facebook @glideguitar Instagram glide_guitar Twitter @GLIDE_guitar

小高ワークスベース
(福島県南相馬市)

ハンドメイドガラスブランド「iriser (イリゼ)」

つくり手もつかい手もどちら も輝けるように

避難区域だった南相馬市小高区に女性を呼び戻したい。そんな思いで「小高ワークスベース」が開設したガラス工房が、2019年3月、念願のオリジナルブランド「iriser (イリゼ)」を立ち上げました。「iriser」は、フランス語で「虹色に輝く、虹色に染める」という意味。それを手にする人の暮らしを彩り、人生を輝かせてほしいという思いが込められています。ラインアップは、南相馬の自然をモチーフにした3種12品。全て女性の職人が一つ一つ丁寧に生み出しています。



職人が6名に増えました。子育て中でも「手に職が就く」「収入と仕事の量がコントロールできる」仕事をこれからも地域に展開していきます。

マネージャー **和田 菜子**さん



南相馬の気持ちいい風と波をイメージした『オフショア』ピアス



南相馬の馬の蹄鉄をモチーフにした『ていてつ』ネックレス



小高の花「紅梅」をモチーフにした『おだかうめ』ネックレス

Information

☎ 0244-26-4525 ✉ iriser@owb.jp
https://iriser.owb.jp/

Facebook @iriserodaka Instagram iriser_odaka

小高本店、HARIO
ランプワークファ
クトリー小伝馬町
店、室町店でもお
求めいただけます

キャニオンワークス
(福島県浪江町)

macole (マコール)

過酷なフィールドで 培った技術と経験を、日常へ

いわき市の新工場稼働から4年、「キャニオンワークス」が、2018年6月、バッグのファッションブランド「macole (マコール)」を立ち上げました。軽さと丈夫さを兼ね備えた最高品質の素材を使い、日常の用途を想定した機能性を実現。デザイン面では、「NAOTO SATOH」のデザイナー佐藤直人氏を監修として迎え、アウトドア×カジュアルを体現しました。アウトドア、レスキュー、ウエツスーツのOEMファクトリーとして、トップブランドのモノづくりを支えてきた職人の技術とノウハウを、多くの皆さんに届けたい。職人の思いが込められたメイド・イン・いわきのハンドメイドブランドです。



「片手でできる」がmacoleの裏テーマです。バックル、ベルトなどアウトドアならではのパーツを活かした使い勝手の良さも見てください。

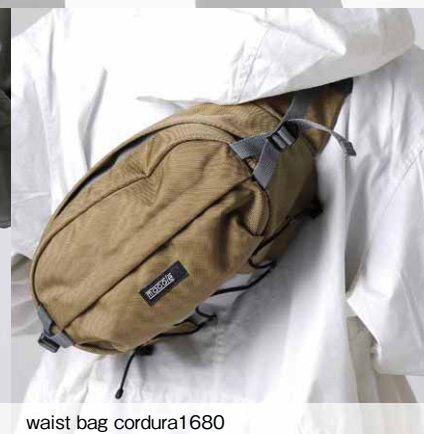
macole 事業部 統括部長
山田 裕貴さん



square cordura1680



sacoch cordura twill



waist bag cordura1680



調理イメージ



デュラム小麦を配合した生麺

旭屋
(福島県相馬市)

大人の旨辛焼そば

未体験!「生麺」の もちもち焼そば

2013年のB1グランプリで優勝した「なみえ焼そば」。その公認商品を製造・販売している製麺会社「旭屋」が、2019年夏、新商品「大人の旨辛焼そば」を発売します。焼そばとは思えないほどモチモチ、ツルツルとした太麺に、辛くて旨味のあるソースを合わせています。一般に、焼そばの麺は「蒸し」や「ゆで」てありますが、「麺が一番おいしいのは生麺のゆでたて」との麺屋のこだわりで、「生麺」で提供。ゆでるひと手間をかけるだけで、一段も二段もおいしい焼そばに仕上がります。麺にはパスタに使われるデュラム小麦をぜいたくに使い、焼そばとは思えないほどの食感を実現しています。



この商品の原点は、麺屋に生まれた私が子どもの頃に食べていた生麺の焼そばです。そのおいしさは食べてもらえれば分かります。皆さんもぜひ!

田河 智子さん

Information

☎ 0246-36-1102 <https://macole.stores.jp/>

📱 @macole1990 📺 macole_official

藤巻百貨店 (<http://fujimaki-select.com>) でも一部商品を取り扱っています。

Information

☎ 0240-35-2217 📧 info@asahiya.com

旭屋楽天市場店 <https://www.rakuten.co.jp/namiefutomen/>

📱 @menasahiya

ゼライス (宮城県多賀城市) 摩擦音ケアに ひざ年齢

コラーゲントリペプチド配合 機能性表示食品

東北唯一のゼラチンメーカー「ゼライス」が、2019年6月、機能性表示食品「摩擦音ケアにひざ年齢」を発売しました。この商品には、日常生活で生じるひざ関節の違和感（摩擦音）を軽減する機能が認められています。1日約4g、お好みの飲み物に溶かして飲むだけで、臨床試験では5週間でひざの痛みの軽減がみられました。主要成分「コラーゲントリペプチド」を製造する技術は、世界で初めてゼライスが実現し、特許を取得しています。



スティックタイプ
(30日分)

ボトルタイプ
(約50日分)

Information

☎0120-593-014
オンラインショップ: <http://www.jellice-shop.com/>

支 援 先 N E W S

復興庁コンテストで大賞

● KUMIKI PROJECT

(神奈川県二宮町 東北拠点: 岩手県陸前高田市、秋田県能代市)

2018年11月、復興庁『「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018』において、最高賞である大賞を受賞しました。応募総数149件のうちの最高賞で、復興に関するストーリー性を有する点や、事業の実現性が高く評価されました。



表彰式の様子。渡辺復興大臣(左)と桑原代表

復興庁の 支援制度を活用

2018年度も復興庁の制度を活用させていただき、支援先事業者に対する側面支援を行いました。

「ジャパンチーズアワード2018」銅賞

● 会津中央乳業

(福島県会津坂下町)

2018年10月、「会津のべこの乳発 熱してよいよいチーズ」が、「ジャパンチーズアワード2018」のパスタフィラータ・モッツアレラ部門で銅賞を受賞しました。同社では、この受賞に甘んじることなく、復興庁の専門家派遣集中支援事業を活用し、あまたにチーズ工房(栃木県那須町)の協力を得て、新商品の開発に取り組んでいます。



会津のべこの乳発 熱してよいよいチーズ

「温泉総選挙」絶景部門5位

● 海楽荘「大船渡温泉」

(岩手県大船渡市)

2018年2月、「温泉総選挙2018」(旅して日本プロジェクト主催、環境省など後援)において、大船渡温泉が絶景部門5位に輝きました。露天風呂や客室から望む大船渡湾の風景が美しいと全国から高い評価を受けました。



「大船渡の風景が評価された」と受賞の喜びを語る志田支配人

専門家派遣集中支援事業

活用した事業者 ひろの屋、長根商店、ナカショク、海楽荘、キャピタルホテル1000、三陸 飼料、ラポールヘア・グループ、旭屋、小高ワークスペース(P13参照)、いちばん星、IIE、会津中央乳業(上記参照)

クラウドファンディング支援事業

活用した事業者 三浦商店、ラポールヘア・グループ、ひろの屋、長根商店、海楽荘

ハンズオン支援事業

活用した事業者 アイローカル

Pick Up

ハンズオン支援事業

● アイローカル「三陸石鹸工房KURIYA」
(宮城県女川町)

「化粧石鹸」を開発

宮城県の自然素材を使った同社の石鹸は、薬機法上「雑貨」扱いで、顔・体に使える「化粧石鹸」としては売り出すことは認められていませんでした。そこで「ハンズオン支援事業」の支援を得て、化粧石鹸として販売する新商品を開発。2019年夏にも販売を開始する予定です。



新たに開発した化粧石鹸

学生支援奨学金

受給者の声

当財団では、被災により修学が困難となった学生を支援するため、学生支援奨学金を設けています。2018年度は16名に支給（1年間）。2011年度からの累計で4,900名に奨学金を給付しました。社会に羽ばたき活躍している皆さんの声を紹介します。



お父さまが指導する少女合唱団が復興庁で関係省庁の職員の方々に対して演奏した時の様子。合唱団は、地元南相馬の子もたちで構成され、彼女たちの歌声に乗せて福島復興を全国・世界に向けて発信している



福島県南相馬市 2015年3月卒業 金子 洋介さん

家業を継ぎ、地元・南相馬の力に

高校3年生の時、地元の南相馬市で被災しました。沿岸を襲った津波、数日後には原発事故も発生。3月20日に進学予定の大学のある山形へ移りました。幸い、家族は皆無事でしたが、友人が亡くなり、地元の風景も一変。大きなショックを受けました。震災で実家の生活環境が大きく変わっていた中、三菱商事復興支援財団の奨学金を受けることができたおかげで、予定通り進学、卒業することができました。

卒業後、仙台・東京の広告系会社に4年ほど勤めた後、南相馬市に戻ることを決意。家業の写真業

を継ぎました。震災から8年がたち、南相馬は日常を取り戻しつつありますが、震災を境に一気に少子高齢化が加速し、若い人材の不足が課題となっています。そんな中、生まれ育った地元のために少しでも力になればと思い、学校行事の撮影、イベント撮影などに日々いそしんでいます。また、両親が地元の子どもたちを集めた合唱団を運営しており、各地での演奏活動のバックアップも行っています。今後も家業・音楽活動を通して地元の復興・再興に精進していこうと思います。

薬剤師としてスキルアップし、 地域に貢献したい



宮城県石巻市
2018年3月卒業
遠藤 大樹さん

東日本大震災で自宅が全壊しました。自宅を建て直そうにも、長年住んでいた土地が災害危険区域に指定されたため、移転せざるを得ませんでした。新しく土地を買い、家を建てたのですが、いくら補助金が入ったとはいえ、家のローンは重く、生活は貧窮してしまいました。そんな中で無事大学を卒業できたのは、奨学金制度のおかげです。本当に感謝しています。

現在私は薬剤師として宮城県にある病院に勤めています。まだ新人で分からないことばかりで大変ですが、先輩方の教えに従って一つ一つ仕事を覚えているところです。職場の雰囲気も明るく、楽しく仕事ができることに喜びを感じています。これから薬剤師として幅広い知識を身に付け、地域に貢献できるように頑張っていきます。



当たり前の生活が送れる喜び

大学2年の3月に東日本大震災が発生。幸い、けがもなく、家屋の損害はありませんでしたが、実家が茶園を営む農家であったため、福島原発の事故によって茶園からは基準値を超える放射線が観測され、家族の収入が著しく減ってしまいました。自分自身のアルバイトによる収入はありましたが、学費を賄うには到底足りません。そんな時、ゼミの先生が三菱商事復興支援財団の奨学金制度を紹介してくれました。奨学金を頂けることが決定した

パリ国立高等美術学校との共同プロジェクトとして行った展示『Art as Experiment: Performing the School』参加メンバーと（右から3人目が井上さん）



アートを基点に、 自分ができる貢献を

宮城県石巻市 2017年3月卒業 井上 修志さん

震災当時中学生だった私は美術を志し、美術専攻のある高校への進学を控えていました。深い悲しみの中始まった高校生活ですが、さまざまな人の助けにより美術大学へ進学することができました。大学生活では本奨学金により、学業に打ち込むことができ、自らの経験をアートを通じて多くの人へと発信する機会を得ることができました。現在は、大学院へ進学し、グローバルな文脈で自ら経験を見つめています。社会の中で何が必要とされ、自分に何ができるのか。自分の勉強するアートを基点にこれからも実行していきたいと考えています。



茨城県常陸大宮市
2013年3月卒業
鈴木 茂大さん

時は、うれしさと安堵感のあまり涙したのを覚えています。

私は現在、ブリヂストンタイヤジャパンというタイヤの卸売会社に勤務しています。仕事でつらいことがあっても、あの震災の経験を思い出すと自然と頑張ることが出来ます。今日の自分があるのも三菱商事復興支援財団のご支援があつてのことです。当たり前の生活が送れる喜びをかみしめながら、今後もご支援いただいた皆さまへ恩返しできるよう精進していきます！

Facts & Figures

● 産業復興・雇用創出支援

岩手県

支援先	概 要	融資額 (百万円)
三浦商店 (岩手県洋野町)	岩手県内随一のサバの取扱量を誇る水産加工事業者への支援。	20
長根商店 (岩手県洋野町)	キノコや山菜の加工・販売を行う事業者の工場移転・拡張を支援。 2015年5月竣工。	30
ひろの屋 (岩手県洋野町)	洋野町沿岸全域に広がる「うに牧場」で育成される北紫うにのブランド化事業を支援。2016年7月水産加工場竣工。	12.5
たろう観光ホテル (岩手県宮古市)	津波で壊滅的被害を受けたホテルの高台での再建支援。2015年6月「渚亭 たろう庵」オープン。	40
ナカショク (岩手県大槌町)	津波で全壊した工場を2012年再開。財団資金で一括仕入れ体制構築を支援。	40
伊藤商店 (岩手県大槌町)	釜石市に本社を置く水産加工業者の冷蔵施設再建を支援。	50
宝来館 (岩手県釜石市)	本館のリニューアルと、完全に流失した別館の再建を支援。2015年4月完成。	20
海楽荘 (岩手県大船渡市)	大船渡市碁石海岸で人気の民宿「海楽荘」を営む事業者へのホテル新規創業支援。	50
森下水産 (岩手県大船渡市)	大船渡市の水産加工業者の新工場建設支援。2015年2月竣工。	50
太洋産業 (岩手県大船渡市)	大船渡発祥の水産加工メーカー。同社主力商品である鮭フレークの工場再建を支援。2013年3月竣工。	100
キャピタルホテル1000 (岩手県陸前高田市)	産業復興・雇用創出支援第1号案件。気仙沼信用金庫と協働し、津波により全壊したホテルの再建を支援。2013年11月オープン。	100
八木澤商店 (岩手県陸前高田市)	200年以上にわたり陸前高田市で醤油・味噌などの醸造業を営んできた事業者への支援。	31
あんしん生活 (岩手県陸前高田市)	地元海産物を利用した冷凍加工品を製造販売する事業者への支援。	20
カメラアン・プロダクツサービス (岩手県陸前高田市)	2013年10月に起業した飲食店を展開する企業への創業支援。	30

支援先	概 要	融資額 (百万円)
KUMIKI PROJECT (岩手県陸前高田市〔東北拠点〕) ※本社は神奈川県中郡二宮町に移転。	震災後起業した、地域資源の気仙杉を活用した家具キット等の製造販売事業者への支援。	5

宮城県

支援先	概 要	融資額 (百万円)
気仙沼地域エネルギー開発 (宮城県気仙沼市)	木質バイオマスを利用した熱電併給事業への支援。2016年2月本格稼働。	100
気仙沼産業センター (宮城県気仙沼市)	気仙沼魚市場に隣接していた、海鮮市場「海の市」の再建支援。	50
三陸飼料 (宮城県気仙沼市)	気仙沼地域の水産加工業者から出る魚のアラ等を原料として、畜産飼料を製造する事業者に対する支援。	100
気仙沼ケーブルネットワーク (宮城県気仙沼市)	防災放送機能を重視する気仙沼市もバックアップする、ケーブルテレビ事業再建への支援。	50
駅前ストアー (宮城県気仙沼市)	気仙沼市内でスーパーマーケット「クリエみうら」を展開する事業者への支援。	50
ヨシエイ加工 (宮城県気仙沼市)	気仙沼で水揚げされるサメの買い付けにこだわる、フカヒレ加工業者への支援。	60
協同水産 (宮城県気仙沼市)	サメのすり身加工の特許を保有。2012年に事業再開。一部機械の更新を支援。	20
サンフレッシュ小泉農園 (宮城県気仙沼市)	壊滅的な被害を受けた水田地帯での、トマト水耕栽培事業創業を支援。2015年9月竣工。	50
南三陸町社会福祉協議会 (宮城県南三陸町)	津波により全壊したデイサービスの再建支援。町内に2カ所のデイサービス施設を建設。	22
及川商店 (宮城県南三陸町)	4工場が流出し、残った一つの工場で事業回復に努めてきた。水産加工団地への工場建設を支援。	20
及新 (宮城県南三陸町)	水産加工団地への、地元特産であるメカブの加工工場新設を支援。	50
セッションナブル (宮城県女川町)	東北産の杉などを利用して製造するエレキギターの工房開設支援。2016年3月工房を開設、同年12月第1弾モデルを発売。	20
アイローカル (宮城県女川町)	地産の素材を活用した手作りせっけんの製造販売事業を支援。若者の雇用増を目指す。	2
浜人 (宮城県石巻市)	十三浜で漁業の6次産業化を目指す事業者を支援。	2

支援先	概 要	融資額（百万円）
ヤマニシ （宮城県石巻市）	東北最大級の造船所。東日本大震災事業者再生支援機構や地元・七十七銀行が総額100億円規模の金融支援を実行。2014年1月、修繕ドック完成。	100
協働マネジメント （宮城県石巻市）	石巻市での飲食店開業支援。	19
ラポールヘア・グループ （宮城県石巻市）	被災地域の美容師に働く場を提供することを目的に起業した美容室チェーンへの支援。	40
桃浦かき生産者 （宮城県石巻市）	カキの6次化事業者へ、日本初の高圧式カキ剥き機導入を支援。2015年5月竣工。	30
大地フーズ （宮城県美里町）	冷凍ハンバーグ等の製造事業立て直しのため、冷凍保管庫の増設を支援。	10
村上商事 （宮城県塩竈市）	近海マグロ漁業や冷蔵保管業務を行う事業者への支援。	30
ゼライス （宮城県多賀城市）	東北地方唯一のゼラチンおよびコラーゲン製造販売企業を支援。	50
アップルファーム （宮城県仙台市）	仙台市における障がい者雇用飲食サービス事業への支援。	10
みちさき （宮城県仙台市）	津波により塩害を受けた4ヘクタールの土地に、大規模養液栽培ハウスを新設した事業者への支援。	100
仙台秋保醸造所 （宮城県仙台市）	東北産原料を積極的に活用。交流人口増加への寄与を目指す。赤とロゼ、シードルに続き、白ワインを発売。	50
GRA （宮城県山元町）	地元農家の方を雇用し、IT技術を駆使した新たなイチゴ栽培に挑戦している企業への支援。2015年6月通年栽培施設をオープン。	50

福島県

支援先	概 要	融資額（百万円）
旭屋 （福島県相馬市）	B-1グランプリ「なみえ焼そば」の加工工場移転を支援。2014年8月竣工。	50
あすびと福島 （南相馬ソーラー・アグリパークより変更） （福島県南相馬市）	福島県南相馬市に建設された太陽光発電所を利用した、子どもたちの職業体験プログラムへの支援。2013年5月オープン。	30
相馬の里 （福島県南相馬市）	南相馬市におけるサービス付高齢者住宅の新設支援。	30
南相馬復興アグリ （福島県南相馬市）	地元関係者とトマト生産施設を2015年11月建設。農業人材育成にも取り組む。	50

支援先	概 要	融資額（百万円）
小高ワーカーズベース （福島県南相馬市）	避難区域となった南相馬市小高区への帰還を促す事業活動を展開。2016年6月ガラスアクセサリー工房開設。	3
いちばん星 （福島県南相馬市）	農家民宿等を経営する社団法人の株式会社化を支援し、持続的な収益事業への成長と雇用増を目指す。	10
会津中央乳業 （福島県会津坂下町）	ワンランク上の乳製品を製造販売。チーズの新ブランド開発を支援し、2015年8月発売。	12
IIE （福島県会津坂下町）	震災後起業した、伝統工芸会津木綿を用いた雑貨商品の製作販売事業者への支援。	7
キャニオンワークス （福島県浪江町）	福島県浪江町で縫製工場を営業していた事業者の、いわき市への工場新設を支援。2014年4月竣工。	50
しらかわ五葉倶楽部 （福島県白河市）	ホウレン草の植物工場とムース食品工場による6次化事業を支援。2014年12月竣工。	50
什一屋 （福島県いわき市）	福島県富岡町から移転。2014年8月、いわき市でホテル事業再開。	50

● 学生支援奨学金

年度	受給者数
2011年度	633名(約 7.6億円)
2012年度	1,072名(約12.9億円)
2013年度	996名(約12.0億円)
2014年度	994名(約11.9億円)
2015年度	666名(約 8.0億円)
2016年度	368名(約 3.1億円)
2017年度	155名(約 0.9億円)
2018年度	16名(約 0.1億円)
累計	4,900名(約56億円)

● 復興支援助成金

年度	助成件数
2011年度	185件(約4.5億円)
2012年度	184件(約4.2億円)
2013年度	48件(約1.2億円)
2014年度	8件(約0.5億円)
累計	425件(約10億円)

2018年度
財務報告

貸借対照表

2019年3月31日現在

公益財団法人 三菱商事復興支援財団			
(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,638,588	37,426,493	△ 32,787,905
売掛金	11,956,432	4,603,392	7,353,040
未収入金	13,016,584	1,902,721	11,113,863
原料	733,310	645,200	88,110
副原料	614,483	554,347	60,136
資材	1,527,787	873,671	654,116
仕掛品	97,608,699	103,215,210	△ 5,606,511
前払費用	2,081,856	2,404,246	△ 322,390
仮払金	1,317,600	0	1,317,600
流動資産合計	133,495,339	151,625,280	△ 18,129,941
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
事業積立資産	325,773,960	383,107,460	△ 57,333,500
出資金	1,664,485,001	1,663,500,001	985,000
長期貸付金	221,000,000	221,000,000	0
敷金	1,621,880	1,621,880	0
建物	482,316,843	500,311,705	△ 17,994,862
機械・設備	94,732,732	108,807,825	△ 14,075,093
建物附属設備	126,418,928	141,061,755	△ 14,642,827
構築物	45,846,185	50,881,636	△ 5,035,451
什器備品	1,300,557	2,443,213	△ 1,142,656
ソフトウェア	2,115,500	1,538,220	577,280
商標権	1,520,206	1,727,494	△ 207,288
特定資産合計	2,967,131,792	3,076,001,189	△ 108,869,397
(3) その他固定資産			
建物附属設備	420,242	532,305	△ 112,063
什器備品	137,693	197,578	△ 59,885
敷金	36,100	15,500	20,600
保証金	80,000	80,000	0
長期未収収益	4,806,575	4,006,575	800,000
その他固定資産合計	5,480,610	4,831,958	648,652
固定資産合計	2,972,612,402	3,080,833,147	△ 108,220,745
資産合計	3,106,107,741	3,232,458,427	△ 126,350,686
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	6,459	508,904	△ 502,445
未払金	10,438,496	7,095,416	3,343,080
流動負債合計	10,444,955	7,604,320	2,840,635
負債合計	10,444,955	7,604,320	2,840,635
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,067,616,071	3,181,289,617	△ 113,673,546
(うち特定資産への充当額)	2,967,131,792	3,076,001,189	△ 108,869,397
2. 一般正味財産	28,046,715	43,564,490	△ 15,517,775
正味財産合計	3,095,662,786	3,224,854,107	△ 129,191,321
負債及び正味財産合計	3,106,107,741	3,232,458,427	△ 126,350,686

三菱商事復興支援財団概要 2019年7月1日時点

名 称	公益財団法人 三菱商事復興支援財団
設立目的	東日本大震災において被災した地域の復興に寄与することを目的とする
事業内容	1. 奨学金の給付 2. 団体（NPO 法人や社会福祉法人など）に対する助成金の給付 3. その他、産業復興・雇用創出などに資する事業
役 員	会長 小林 健 （三菱商事 取締役会長） 副会長 榊田 雅和 （三菱商事 代表取締役 常務執行役員 コーポレート担当役員（サステナビリティ・CSR、総務、法務）） 代表理事 胡摩ヶ野 洋 理事 足達 英一郎（日本総合研究所 理事） 大島 仁志 （公益財団法人 民際センター 理事） 西澤 正俊 （三菱総合研究所 元副社長） 評議員 末吉 竹二郎（国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問） 鬼頭 宏 （静岡県立大学学長） 菊地 清貴 （三菱商事 コンシューマー産業グループ CEO オフィス室長） 監事 野内 雄三 （三菱商事 執行役員 主計部長） 藤間 秋男 （公認会計士）

サ イ ト <https://www.mitsubishicorp-foundation.org/>

所 在 地 〒100-8086 東京都千代田区丸の内2-3-1
03-3210-9770（代）

[郡山事務所]
〒963-8004 福島県郡山市中町1-22 郡山大同生命ビル10階
024-955-6011